



灘中学校



二次元コードから
閲覧可能です。

答えのない地域課題に 生徒と地域住民が挑む！

文部科学省の調査研究協力者会議等（初等中等教育）の主権者教育推進会議＜令和3年3月31日＞が、「今後の主権者教育の推進に向けて」（最終報告）を出しています。その中で、「初等中等教育段階における取組の充実として、児童生徒にとって身近な社会である学校生活の充実と向上を図ることを目指す児童会活動、生徒会活動やボランティア活動などの活動は、主権者としての意識を涵養する上で大変重要であり、これらの活動の充実を図ることが求められる。」と述べています。

本号では、生徒会と学校運営協議会が一体となり、地域の絆を深めるための具体的な取組を模索している灘中学校を紹介します。

生徒と地域住民が協働して運営する 生徒会運営協議会 【灘中学校】

※本事例は、灘中の井村教諭が中心となり、研究的に取り組まれているものです。

- ① 生徒代表（生徒会執行部、専門委員会委員長）と学校運営協議会委員の話し合い【生徒会運営協議会】＜4月＞
 - ・ 生徒会活動への意見・協力
 - ・ 地域活動への意見・協力
- ② 生徒会運営協議会による保護者対象説明会 ＜4月＞
- ③ 生徒会運営協議会によるコミスク授業（1年生対象）＜7月＞
- ④ 地域の絆を深めるための具体的な取組の計画と実践 ＜6～8月＞
- ⑤ 地域と連携した専門委員会活動 …《活動例》
 - ・ 地域一斉挨拶運動【生活委員会】
 - ・ 地域紹介【放送委員会】
 - ・ 青木海岸一斉清掃【総務委員会】
 - ・ 地域一斉読書の日【図書委員会】など



《共通のテーマ》

“地域の方と一緒に、灘の笑顔を創る”

こちらこそ、一緒に
考えていきましょう。
＜学運協委員＞

松脇会長さん、よろしく
お願いします。＜子供＞

PTA 総会の場を
お借りして、地域
の方と一緒に取り
組む生徒会活動
について説明し
ます。＜子供＞

いつも皆様の子供
さんに元気をもらっ
ています。
灘地区の子供の学
びと成長を応援する
「みんな元気 Da
ネット」や生徒会と
協力して、灘地区の
笑顔をつくってい
きたいと思います。
＜学運協委員＞

地域の皆さん
は全てボラン
ティアです。
なぜ、皆さん
のために活
動してくだ
さるのしょ
うか？
＜井村教諭＞

見たことのある方だな。お世話
になっているのだな。＜保護者＞

地域の人の思いに触れて、心が温かくなった。地域
のために自分ができるとは何かを考えたい。＜子供＞

自分の子供のように
思ってください
いるんだな。＜子供＞



「生徒をコミュニティ・スクールの運営者に」という思いを、生徒会活動を地域に開くことを通して実現しようとしています。学運協のメンバーも、前向きに喜んで取り組んでいました。生徒にとって、課題解決的な活動であり、異質な人との協働活動ともなっており、自己有用感や他者理解、自立心などが育まれることが期待されます。